



子どもとメディア 北海道

子どもとメディア 北海道

第5号

2011年

7月発行



撮影:諏訪 「礼文島から望む利尻富士」

23年度第1号の発行に寄せて・・・2ページ

今年度の会員さんの横顔・・・3ページ

中学生への授業報告・・・4～5ページ

インストラクター活動報告と今後の予定・・・6ページ～7ページ

子どもとメディア北海道会員大募集！！・・・8ページ

23年度第1号の発行に寄せて 子どもとメディア北海道代表 諏訪清隆



早いもので「子どもとメディア北海道」が誕生してから1年が経ちました。子ども達をメディアのリスクから守りたい、そのためには子どもから大人まで幅広い年齢層の方々にメディアのメリットやデメリット、子ども達が置かれている現状を理解してもらいたいとの思いで当会を立ち上げました。

意気込みの強さが先走ってしまい、どうやって活動していくかが定まらないままの発足となったため、この1年まさに手探りで活動を続けてきました。

でも、今振り返ってみるとこれでよかったと思っています。「どうやったら上手く伝えられるだろう」、「わかってもらえるにはどう工夫したらいいだろう」、「自分だったらこんなことが知りたい」などなど必死になって考えて講演の準備をしてきました。今でも、講演をさせていただくたびに反省することばかりですが、次はもっと良くしたい、誰かの受け売りではなく「子どもとメディア北海道」オリジナルの講演をしていきたいという気持ちがあります。

おかげさまで 勉強会、講演会、新聞の取材などを通して徐々にではありますが確実に、私達の活動は広がってきています。今年は念願でもあったアンケートを実施することができました。これはまさしく「子どもとメディア北海道」オリジナルのデータとなり、積極的に前進していくための新たな一歩となりました。これからも多くの保育園や幼稚園、小中学校、高校での実施を目指し、結果を公表していくことで、ここ北海道における現状を広く知ってもらいたいと思っています。

ご存知のように日本での子どもへのメディア対策への取り組みは急がなければなりません。しかし、残念なことに北海道での活動は必ずしも進んでいるとはいえず、関心度も低いのが現状です。先日、なぜ電子メディア漬けが子どもの発達に良くないのか、どう対応したらよいのかをお話しさせていただく機会がありました。参加された方々の中には、メディアの何が良くないのかピンときていない方々が見受けられ、私の話し方が良くなかったとまた反省しました。しかし、この問題への関心の低さを感じたときは悲しい気持ちになりました。

だからこそこれからも地域に根ざした地道な活動を通して、道民のみなさんに関心を持ってもらえるよう子どもへのメディア対策の必要性を訴え続けなければなりません。

この会を発足したときの気持ちを忘れず、決して焦らず、御賛同下さる方々と一緒に「子どもとメディア北海道」がその名の通り、北海道の大地にしっかりと根を張った大きな木となるように大切に育てていきたいと思っています。

皆様にはこれからもご協力いただけますよう心よりお願い申し上げます。

今年度の会員さんの横顔

情報誌の字が小さくて読みにくかったので、今年度はサイズを大きくしました

平成22年度は、3月末までに約30名の会員さんをお迎えしたのですが、平成23年度7月現在は、12名に留まっています。

6月に北海道新聞の生活面に取り上げていただいたこともあり、会への照会が3件ありました。いずれも、ご自身で、子どもへのメディアの影響について学習したり、啓発活動をされている方でした。会への入会も期待できそうなので(?)、今後一緒に意見交換何度できることを願っています。

また、白老町内ですが、若い子育て中のママからも複数人、会への照会をいただき喜んでおります。

諏訪代表、中谷事務局長ともに、今一つ会員拡大への行動が伴わないため、反省しきりなのですが、少しずつでも情報誌を通して、学び合える環境をつくっていきたいと考えておりますので、お力添えよろしく申し上げます。

会員さん12名の横顔

保育園関係者・・・1名

教育関係者・・・1名

読み聞かせ関係者・・・1名

子育て支援関係者・・・5名

子育て中の親・・・2名

医療関係者・・・2名

投稿大募集 !!

昨年度から継続して参加下さっている方も、今年度、新聞記事などを見て参加下さった方も、情報誌にご自身の意見や考え、情報誌を読んでの感想などを投稿していただけませんか？

原稿の量は、A4版で2枚以内にまとめていただけると助かりますが、それより長くてもOKです。お問い合わせください。

投稿の際は、所属やお名前を出していただいてももちろん構いませんし、ペンネームでもOKです。メール・FAX・郵送・直接手渡し、いずれでもよろしいです。

次回の発行は10月を予定していますので、9月末日まで送って下さると幸いです。

中学生への授業報告

白老町内の中学校 全校生徒 約100名
23年5月25日(水)5校時 全校道徳

白老町訪問型家庭教育支援員の講師派遣事業として、中谷が担当しました。昨年度、小学生高学年に向けた授業はしていたものの、中学生でネット・ケータイに特化した内容は初めてのため、緊張感を持ちながら準備していきました。この中学校では毎年「携帯電話教室」が行われていますが、携帯電話事業者の方の講話ではどうしても「携帯を持つ」ことが前提になるため、持つか否かを含めて生徒に考えさせたいとの希望がありました。

大変お忙しい中、先生方のご協力をいただき、「子どもとメディア」で作成している簡易型のアンケートを行うことができました。生徒さん達の約9割が記入してくれました。自由記述は、ほぼ全員が書き込んでくれて、その内容からこちらの伝えたいことを受け止めてくれたと感じ感謝しています。①ネットやゲームなどの悪い影響を具体的に知ったので、今までの利用時間や方法を見直したい生徒が増えた。②「親に見せられない書き込みをしない」や「親に相談する」と答えた生徒が大変多かったことから、リスクの内容を知ればまだまだ大人と対話したい発達段階であることがわかった。③「まだ持つのは早い」と自分で判断した生徒さんが複数人いた。などが、アンケートから読み取れます。

【アンケート結果から】(簡易なアンケートに協力いただきました)

A. あなたは電子メディアの影響と規制について、どう考えていますか？

講演の前に思っていたこと、今思っていること、各々いちばん近いものに○をして下さい。

| | 講演前 | 講演後 | ○をつけた人数の増減 (講演前の人数を100%とした割合) |
|--------------------------|-----|-----|----------------------------------|
| そんなに悪いものとは思わないので規制しなくてよい | 25人 | 9人 | 16人減 (64%減) |
| 悪いと思うが規制はできない(しない) | 16人 | 10人 | 6人減 (37%減) |
| 悪いと思うので規制していこうと思う | 11人 | 32人 | 21人増 (190%増) |
| いま規制できている | 14人 | 18人 | 4人増 (29%増) |
| よくわからない | 19人 | 17人 | 2人減 (11%減) |
| その他(使わない・持っていないなど) | 7人 | 9人 | 2人増 (29%増) |

B. 平日のメディア接触時間は、何時間くらいですか？

(講演内容がケータイ・ネット・ゲームについてだったため、主にそれらのメディアと推察できる)

| | 1年生 (回答者24人) | 2年生 (回答者24人) | 3年生 (回答者22人) | 全体 (回答者70人中) |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1時間以内 | 5人 | 10人 | 6人 | 21人(30%) |
| 2時間以内 | 6人 | 4人 | 3人 | 13人(19%) |
| 3時間以内 | 4人 | 0人 | 7人 | 11人(16%) |
| 4時間以内 | 1人 | 3人 | 3人 | 7人(10%) |
| 5時間以内 | 6人 | 1人 | 3人 | 10人(14%) |
| 6時間以内 | 1人 | 2人 | 0人 | 3人(4%) |
| 7時間以内 | 1人 | 0人 | 0人 | 1人(1%) |
| 8時間以内 | 0人 | 2人 | 0人 | 2人(3%) |

| C. あなたがやろうと思うことはありますか？(いくつでも○をつけて下さい) (アンケート記入者 91 名中の割合) | |
|--|-----------|
| ケータイ・ネット・ゲーム等の1日の時間を制限する | 45人 (49%) |
| 夜中にケータイ・ネット・ゲームをしないように置き場所を制限する | 20人 (22%) |
| ケータイ・ネットの自分のサイトにパスワードをつける | 19人 (21%) |
| 親に見せられないメール送信、サイトに書き込みはしない | 33人 (36%) |
| ケータイ・ネットのルールを友達どうしで決める | 14人 (15%) |
| ケータイ・ネット・ゲームのルールを家族と相談して決める | 17人 (19%) |
| 親にケータイ・ネット・ゲームの話をしてみる | 13人 (14%) |
| ケータイ・ネットで困ったことが起きたら必ず親に相談する | 28人 (31%) |
| その他 | 2人 (2%) |
| ***** | |
| D. 講演で印象に残ったこと、感じたこと(自由記述) (アンケート記入者91名中89名が記述してくれました。その中から抜粋します。) | |
| 悪口をネットに書くと自分も相手も傷ついてしまうという事 | |
| 今携帯は持っていないけれど、今後持つようになったら、今回知ったことに注意して、利用するようにしたいと思った。 | |
| ちょっとしたことで、変なトラブルに巻き込まれるんだということを学びました。 | |
| ケータイが欲しいので買ってもらう時は、ルールを決めたり無駄なことはしないで電話を多くしようと思います。ケータイを持ったら、お金をあまり使わないようにしようと思いました。 | |
| ケータイは怖いものだと知りました。あまり使わないようにする。 | |
| ネガティブな表現のこと。「キモイ」など使っている時があるので気をつけたいです。 | |
| 自分はケータイ、ネットなどはあまりしていませんが、使うようになれば今日の講演の事を気をつけてやりたいです。 | |
| メールなどで悪口を書かれて傷ついた人がたくさんいるんだなあと思った。自分もそういう事がないように気をつけたいと思う。 | |
| ケータイ欲しいと思っていたけど、ケータイ・ネットなどの恐ろしさがわかって欲しくなくなりました。 | |
| ネットで個人情報を書いて殺された人がいるのは、びっくりした。 | |
| 依存テストで合計が13点になってしまったので、気をつけていかなければいけないと強く思いました。 | |
| 書き込みで、人が自殺に追い込まれたことが印象に残った。 | |
| 依存症になったら大変だと思った。チェーンメールはまわさないようにしようと思った。 | |
| ネット上ではいけないこと、言ってはいけないこと、現実でも言ってはいけないことをあらためて知ることができて良かった。ネット上で、人の悪口を書き込んでいる人は最低だと思う。 | |
| 自分も依存症なのかなあ。 | |
| まず、悪口は怖いなと思いました。最初は、どうでもいいんじゃないかと思ったのですが、今はそうじゃありません。 | |
| 何も考えずに、ゲームとかをやっていたのが悪いと思った。 | |
| 対応をしっかりとった方がいいと思った。自分でもゲームをたくさんする時があるので、気をつけた方がいいと思った。 | |
| 私はケータイを親と兼用で使っているので料金などはあまり気にしてないんですが、インターネットやゲームなどよくするので、少し気にしないと迷惑かけるなと思いました。ネットの世界は危険がたくさんあるのでなるべくパスワードやロックをかけてネットの世界を楽しく安全に利用したいと思います。 | |
| ケータイやネットの依存症のチェックで、自分がネットケータイ依存症になっていて驚いた。体への影響や禁断症状が出ないうちに直したいとおもった。それに、 | |
| サイトでだれかが知らない人に「キモイ」「死ね」って書かれているのを見たことがあって、助けていいのかわからなくなっていたので、すごく勉強になりました。メールで相手がどんな気持ちとかは全く知らなくて、もしかしたらメールで傷つけている場合もあるので気をつけたいと思います。 | |
| 今まではケータイとか使いすぎたらダメだとわかっていたのに自分をおさえられずに使いすぎてしまっていました。でも今回講演を聞き、犯罪や依存症になる危険性が高いことがわかり、使う時間を減らしていこうと思いました。あと、メールは他の人のことも考えて送ろうと思いました。 | |
| 今まではケータイとか使いすぎたらダメだとわかっていたのに自分をおさえられずに使いすぎてしまっていました。でも今回講演を聞き、犯罪や依存症になる危険性が高いことがわかり、使う時間を減らしていこうと思いました。あと、メールは他の人のことも考えて送ろうと思いました。 | |

インストラクター活動報告と今後の予定

【活動報告】

- ☆5月25日(水) 白老町萩野中学校 道德の時間50分間「携帯電話教室」
(全校生徒約100名と先生対象)
- ☆5月26日(木) ニセコ町「乳幼児期の子どもとメディアのよい関係～大人のできること、すべきこと～」(後志保育協議会の研修会・保育士さん約25名)
- ☆6月中下旬・・・北海道新聞生活面取材(子どもとメディア北海道の活動について)
* 別紙新聞記事参照

【アンケート調査経過】

6月に旭川市ならびに近郊の3つの園、1つの高校でアンケートを実施して回収もすでに済みしました。

現在、約300人分の園児保護者への結果を集計しているところですが、結果を整理していて驚くことがたくさんあります。

現代の乳幼児のおかれているメディア環境、さまざまな保護者の認識や気持ちを把握することができ、色々な点で深く考えさせられます。

それと同時に、どの時期に誰に対して、メディアのどんなことを説明したらより効果的なのか、メディア漬けのリスクポイント、予防への具体的な対策法などがだんだんと明らかになってきました。集計ができ次第、今後の活動に役立てていきたいと考えています。

今後、さらに数を増やしたいと考えていますのでご協力下さいますようお願い致します。

【講演予定】

- ☆8月18日(木) 旭川市 主催:木曜会
「電子媒体が子供の発達に与える影響について」 担当:諏訪
- ☆10月8日(土) 13時30分～15時30分育児ネットめむろ主催
「子どもとメディアのよい関係(大人のできること、すべきこと)」 担当:中谷
- ☆10月(日程調整中) 士別市 担当:諏訪
- ☆10月18日(火) 10時～11時半 白老町高齢者大学主催 担当:中谷
「子どもとメディアのよい関係(大人のできること、すべきこと)」白老町コミュニティーセンター
- ☆10月中旬～11月上旬(日程調整中) 別海町 担当:中谷
- ☆12月3日(土) ニセコ町PTA連合会 担当:中谷

【北海道新聞生活面掲載：子育てワンポイント7月から毎週日曜日】

6月のある日、北海道新聞生活面の記者さんより連絡をいただきました。

毎週日曜日生活面で掲載している「子育てワンポイント」で、携帯電話やネットを子ども達が使う際に親としてどうかかわっていったらよいのかを取り上げていきたいので執筆してほしい、との依頼をいただきました。

大変ありがたいことでした。それに先駆け、「子どもとメディア北海道」の活動を紹介したいと取材を受け、昨年度白老町で講演を聞いた後、家庭で子どもさんと実践されている「宮本さん親子」が紙面で紹介されました。

* 別紙参照

新聞の影響は大きいもので、早速拙会の活動に関心を寄せて下さった方より照会があったり、拙団体のHPの掲示板に書き込みがあったりしました。

拙団体のHPは、「子どもとメディア北海道」で、検索していただくと出てきますので、のぞいてみて下さいね。

電子メディアの中でも、ネットのリスクについては社会的な合意は得やすいですが、テレビやDVD、ゲームについては、子どもの発達段階やメディア接触の程度、それ以外の生活環境によって違うので、みんなで議論して子どもにとって良い環境をつくっていききたいですね。

子どもとメディア北海道会員大募集！！

子どもとメディア北海道 ホームページアドレス

<http://childmediahk.web.fc2.com/>

会員になると 会議などはありません。ゆるやかなネットワークです。

- ★ 情報誌が届きます（年間4回程度発行予定）。
- ★ 学習会や交流会にご参加いただけます。

申込方法

①初年度の方は、入会申し込み用紙にご記入ください

☆同封の入会申し込み用紙に必要事項を記入して、FAXで事務局まで送信ください。
代表・事務局へのメールでも受け付けます。（申込用紙の必要事項をメールに書いて返信ください）また、会費を郵便小為替で郵送される方は、封書で一緒にご送付ください。
☆入会申し込み用紙の送信と以下の会費の納入の確認をもって、情報誌の発送をさせていただきます。その年度にすでに発行されている情報誌は全て送ります。

②2年度以降の方は、年会費を納入ください。（5月末日まで納入いただけると助かります）

会費について 情報誌作成発行・事務費等に当てます

★年会費 1500円

★会費の納入方法は、代表・事務局への手渡しか、事務局まで郵便小為替（1500円分）を郵送するかのいずれかをお願いいたします。

23年度の年会費は、昨年度より500円下げて、1500円とします。少しでも多くの方に情報誌を読んでもらいたいとの思いからです。ぜひご紹介下さい。

昨年度も情報誌の用紙は、元々事務局で持っていたものを使っていたのですが、今年度も何とか間に合いそうです。

事務局(中谷 通恵 なかや みちえ)

〒059-0908 白老郡白老町緑丘1丁目3-34

TEL/FAX 0144-82-2685

メールアドレス michie-n@plum.plala.or.jp

入会申し込み

お問い合わせは

こちらまで

